



『Good eye contact (アイコンタクト)』

校長 高汐 康浩

第15号
令和5年11月15日
府中市立
府中第八中学校



〔在籍生徒数〕 一学年248名、二学年260名、三学年241名
 全校生徒数749名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★インフルエンザ流行中です。感染防止に注意していきましよう！

「Good morning class. Put everything under your desks. Good eye contact is the most important thing, you know?」(みなさん、おはよう。机の上の道具をすべてしまいなさい。今日の授業でもアイコンタクトを特に意識しなさい。)

キャルフーン (Calhoun) 先生は私の学生時代の英語の先生でした。私にとって最も厳しく怖い存在でした。キャルフーン先生の授業は土曜日の3時限目になりました。週末にその授業があることで、しばしば憂鬱(ゆううつ)な気持ちになっていました。キャルフーン先生はいつも背筋をピッと伸ばし小脇に教科書を抱えて教室に入ってきました。教科書を教卓に勢いよく音を立てて置くと、冒頭のフレーズを必ず言いました。そして、毎回の授業は復習テストで始まりました。

キャルフーン先生はアメリカのコロラド州デンバーの出身です。いつもグレイのピシッとしたスーツを着ていました。どんなに暑い日でも同じでした。当時の教室にはエアコンなどはなかったのですが、いつも同じ長袖のスーツを着ていました。学生たちは汗をぬぐいながら授業を受けていたのですが、先生は汗ひとつかかず授業をするのがいつも不思議でした。そして気になっていたのが先生のネクタイの付け方でした。先生のネクタイには結び目はありません。いつか、不思議に思った私は、なぜ、そのような付け方をしているのか、恐る恐る質問しましたが、返事は「No comment (ノーコメント)」でした。



九十分間のキャルフーン先生の授業は緊張の連続でした。座り方、ノートの書き方など細かい指示がありました。そして、少しでもミスをすると、大きな声でクラスの仲間たちの前で「made a mistake. I've changed my mind. I think I'd do it better」(私はミスをしてしまいました。くをした方がよかったです。違います。これからは気持ちを入れ替えます。)"と言わないと許してもらえませんでした。宿題忘れや、繰り返しのミスがあると、「Go outside! Get away!」(教室から出ていけ!)と言われてしまいました。しかも、さらに「detention」(居残り

勉強)を言い渡され居残りをさせられました。キャルフーン先生は、私にとって恐怖の存在でしたが、今、当時のことを思い出すと、先生から本当に多くのことを学ぶことができ、今に活かしていると実感しています。その一つが、「Good eye contact」です。キャルフーン先生は、授業中、黒板の前を行ったり来たりするのですが、眼差しは常に学生を向き、その鋭い眼光是常に光っていました。日本語にも「目は口ほどに・・・」と言う言葉があります。『Eye contact』の重要性を実感させられました。

先日、ある三年の生徒から質問を受けました。その生徒が受験する上級学校の入試には面接があるそうです。質問の内容は、入試面接のときに「どこに視線を置いたらよいか」という内容でした。実は以前勤務していた学校の三年生からも同じような質問を受けたことがあります。そのときは、逆に生徒の皆さんに、どこに視線を置けばよいと思っているのか質問してみました。そうしたら、「面接官の目を見る」、「眉間のあたりを見る」、「ネクタイの結び目あたりを見る」など様々な答えが返ってきました。面接攻略本などの参考書を読むと、「視線を合わせずにあごのあたりに視線を置く」などと書かれています。多いようですが、話をしている人と「Eye contact」を取らずにコミュニケーションができるでしょうか。質問をした生徒には、初めての面接で緊張して、どうしても『Eye contact』が難しい場合を除いては、しっかりと『Eye contact』を取ることがよい」というアドバイスをしました。

普段、友だちや家族と会話をしているときのことを少し思い出してみましよう。私たちは、何気なく相手の目や表情から相手の反応や心情を読み取ったり汲み取ったりしています。面接という緊張を強いられる場面でも、面接を受ける皆さんには面接官などとコミュニケーションがしっかりとできるよう期待しています。今回は、「Eye contact」を話題にしましたが、キャルフーン先生からは他にも多くのことを学びました。その他の学んだことの一つである「Resilience (レジリエンス)」について次号の学校だよりに掲載したいと思えます。「Resilience」は、これからの時代でたくましく生活するために必要です。



活躍する八中生とPTA

【敬称略】

★卓球部★

第九ブロック中学校卓球新人大会
男子シングルス(二年以下の部) 第五位 松平昌大
女子シングルス(一年生の部) 第三位 藤本 ゆずな

第六十四回 府中市市民体育大会 卓球の部
第五位 大町夏花 第五位 畔上夏実

学校対抗

男子 準優勝 小川 惺樹 朝倉陽和太 松平昌大 和田塔矢
女子 準優勝 奥 絢花 松尾 葉里 猪飼 菜月美 大島 和

少年の部
男子 優勝 牛久保 湊士 櫻井 陽人 嶺川 英志 石川 蓮真
第三位 新津谷 奏汰 綿谷 虎之佑 岡本 悠真 高橋 礼知
女子 優勝 西野 実紗希 小山 花帆 飯田 果凜

多摩地区中学校卓球大会
男子団体 準優勝 村上 路 松浦 優那
女子 準優勝 藤本 ゆずな 利根川 花奈 大町 夏花

準優勝 朝倉 陽和太 和田 塔矢 石川 蓮真 岡部 翔之介
松平 昌大 嶺川 英志 岡本 悠真

★剣道部★

第九ブロック中学校秋季新人剣道大会
女子団体 準優勝

★サッカー部★

令和五年度 第九ブロックサッカー新人大会 準優勝
令和五年度 第六十七回 東京都中学校サッカー新人大会に出場決定

★令和五年度中学生による薬物乱用防止標語府中地区選考★

佳作 小林 然 標語 『一度だけ そんな甘えが 命取り』

※市役所のデジタルサイネージに掲示されますので、市役所にお越しの際はぜひご覧ください。

期間 十一月十七日～二十九日

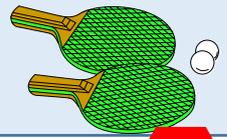
★令和五年度P連スポーツ研修会★

バレーボール大会予選

2対0 対 白糸台小学校

2対1 対 府中第三中学校

※リーグ1位で本大会(十一月二十六日)に進出



重要

十一月は「ふれあい(いじめ)防止強化(月)です！」

本校の「学校いじめ防止基本方針」(ホームページをご覧ください)に、左記のとおり『基本方針策定の意義』を定めています。

いじめの問題は、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与える。そのことよって当該生徒が登校できなくなったり、生命や身体に重大な危険を及ぼしたりする恐れがあり、このいじめ問題への対応は学校における最重要課題の一つであると捉える。府中市立府中第八中学校いじめ防止基本方針は、いじめの問題から一人でも多くの生徒を守るためにも「いじめは絶対に許されない」、「いじめはどの学校、どの学級でも起こり得る」という認識に立って、学校・家庭・地域住民・関係機関と緊密に連携し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、重大事態への対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために定めるものである。

「ふれあい月間」には、いじめ等の問題行動の早期発見・対応や未然防止につながる具体的な取組、アンケート、全校朝礼や学年、学級でのいじめ防止等に関する啓発、SOSの出し方に関する教育指導などを行います。

「児童虐待防止推進月間」です

厚生労働省の主唱により、平成十六年度から毎年十一月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、各機関が児童虐待防止に向けた啓発活動などを集中的に行っています。学校においては、引き続き、児童虐待の早期発見に向けた取組を行ってまいります。生徒の皆さんには、SOSの出し方に関する指導やさまざまな相談窓口についての周知を行っています。

八中二年生と地域連携による水平避難行動体験実施！

本校の地域コーディネートタの山原 充様を講師に、『水害への備えと構え』をテーマに防災に関する学習を実施しています。

山原様の講義では「郷土の地勢と環境」、「氾濫状況シミュレーション」、「命を守る行動」、「水害時のさまざまな危険とその予測と回避」などの学習をしました。

十月二十八日には地域の皆さんとともに、水平避難行動体験を行い、「はげ上」までの避難行動を実際に行ながら実地踏査(じっちとうさ)をしました。

